

# 令和6年度

## 第1回鳥取市下水道等事業運営審議会

### 本日の議題

- 1 前回の答申内容と付帯意見に係る取り組み状況(議題5)
- 2 令和5年度の決算の状況(議題6)
- 3 使用料収入と使用料対象経費の見込み(議題7)
- 4 今後のスケジュール(その他)

令和6年7月25日

下水道部

# 目次

1. 前回の答申内容と付帯意見に係る取組状況
  - 1-1 前回の答申内容（P1）
  - 1-2 付帯意見に係る取組状況（P2～P8）
2. 令和5年度の決算の状況（P9）
3. 使用料収入と使用料対象経費の見込み（P10～P14）

# 1. 前回の答申内容と付帯意見に係る取組状況

## 1-1 前回の答申内容

前回料金改定を審議いただいた令和3年度の本審議会では、平成28年度より施行している現在の下水道使用料について、令和4年度から令和6年度を算定期間として、改定を行うか審議いただいた。

※

今後の見通しでは令和4年度から令和6年度の3年間における経費回収率について100%を維持できると予測されている。このことより、現行の使用料のまま据え置くことが適当である。

(参考)令和3年度鳥取市下水道等事業運営審議経過

	開催日	主な審議内容
第1回	令和3年11月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 前回の答申内容について</li><li>・ 今後の投資計画について</li><li>・ 算定期間について</li><li>・ 使用料対象経費について</li><li>・ 今後の財政収支等見込みについて</li></ul>
第2回	令和4年1月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 前回のご指摘について</li><li>・ 答申について</li></ul>

※経費回収率

使用料で賄うべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表す指標のこと。

## 1-2 付帯意見に係る取組状況

### 付帯意見 2項目

---

#### (1) 経営健全化の取組

##### ① 施設の計画的な修繕と資本費の平準化

下水道等施設の更新費用が増大すると予測されることから、施設の計画的な修繕や鳥取市ストックマネジメント計画に基づく資本費の平準化を図ること。

##### ② 効果的な接続勧奨及び徴収率向上

不公平感や下水道等事業経営に支障をきたさないよう、納付環境の充実に努めるとともに、未納者の生活実態等も考慮しながら、毅然とした滞納整理に努力すること。

##### ③ 基本使用料、従量使用料負担区分の検討

中長期的な視点で人口減少や排水需要の実態等を把握し、見直しに向けた調査・研究を行うこと。

#### (2) きめ細やかな広報活動

多様な情報発信ツールを積極的に活用し、下水道を身近で大切なものとして実感できるような広報内容の充実に努力すること。

## 1-2 付帯意見に係る取組状況

### (1) 経営健全化の取組について

#### ① 施設の計画的な修繕と資本費の平準化

本市では、令和2年度から始めている新規整備から維持管理、延命化、改築更新までを一体的に捉えた施設管理としてのストックマネジメント計画の運用を継続して推進しています。

#### ストックマネジメント計画に基づく整備(工事)

R4	浜村浄化センター 電気設備更新 管渠改築・長寿命化
R5	吉成ポンプ場 耐震補強・建築設備長寿命化 浜村浄化センター 耐震補強・機械設備更新 管渠改築・長寿命化
R6	秋里下水終末処理場 耐震補強・汚泥濃縮設備改築 管渠改築・長寿命化

# 1-2 付帯意見に係る取組状況

## (1) 経営健全化の取組について

### ② 効果的な接続勧奨及び徴収率向上

公共下水道・集落排水接続率										
	行政人口	公共			集排（農・林・漁）			公共+集排		
		処理人口	接続人口	接続率	処理人口	接続人口	接続率	処理人口	接続人口	接続率
R1	186,180	147,891	142,886	96.6%	30,219	28,932	95.7%	178,110	171,818	96.5%
R2	185,157	147,940	143,494	97.0%	29,423	28,301	96.2%	177,363	171,795	96.9%
R3	183,645	147,615	143,463	97.2%	28,786	27,745	96.4%	176,401	171,208	97.1%
R4	182,163	147,204	142,995	97.1%	28,124	27,111	96.4%	175,328	170,106	97.0%
R5	180,123	147,926	144,046	97.4%	27,345	26,378	96.5%	175,271	170,424	97.2%

○職員2名による、戸別訪問

- ・供用開始後、家屋及び管理者を1件ずつ訪問
- ・湖山池周辺は年1回程度、それ以外は1年半に1回程度、接続完了まで交渉継続

○令和5年度実績

1,666戸訪問、105戸接続

# 1-2 付帯意見に係る取組状況

## (1) 経営健全化の取組について

### ② 効果的な接続勧奨及び徴収率向上

#### 【使用料未納に対する対応】

○徴収員4名による、戸別訪問・  
夜間徴収・電話催告  
(R5実績:25,640,395円)

○収納推進課への移管、担当課単独での  
滞納整理

収納推進課への移管による回収(令和5年度中)

	公共	集排	負担金	合計
金額	3,208,065	597,109	25,920	3,831,094

担当課での滞納整理(令和5年度中)  
預金差押11件 1,004,877円

#### 【納付方法の多チャンネル化】

	R3		R4		R5	
全体件数	371,762	100%	360,878	100%	360,659	100%
口座	295,721	80%	293,368	81%	292,393	81%
金融機関	28,814	8%	18,791	5%	15,189	4%
コンビニ	41,278	11%	40,714	11%	43,434	12%
スマホ	5,946	2%	8,005	2%	9,643	3%
ペイジー	1	0%	0	0%	0	0%

金融機関窓口での納付⇒スマホ、コンビニ納付に推移

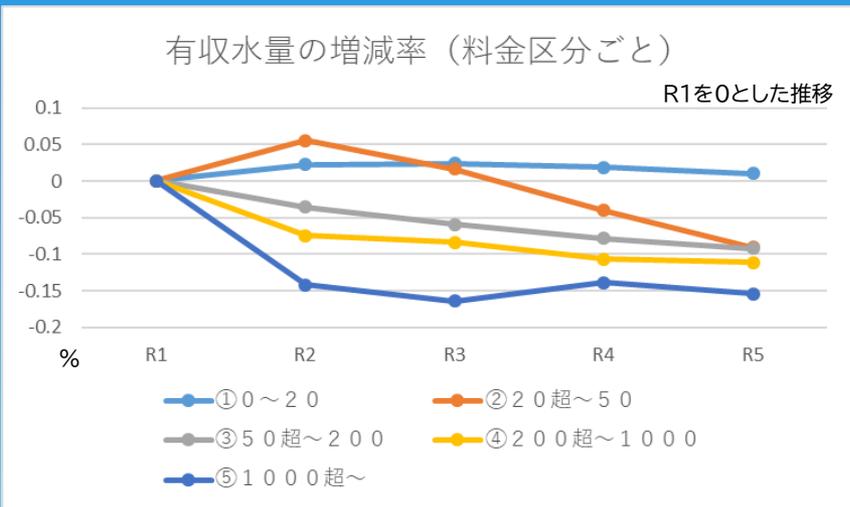
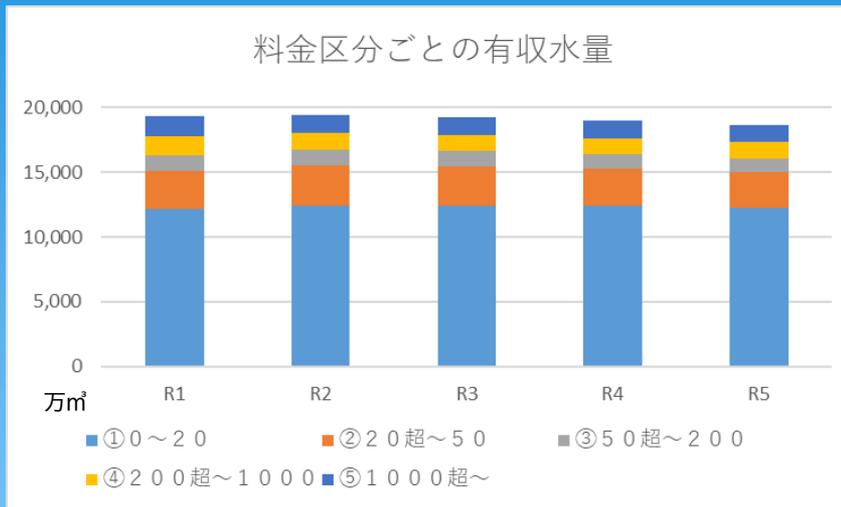
#### ○口座振替の奨励

HP等でのPR、催告時の奨励に加え  
R6から鳥取銀行・山陰合同ではWebで受付可能  
⇒(R6.5月末)  
鳥取銀行39件(新規登録全213件中)  
山陰合銀56件(新規登録全244件中)  
全銀行での口座振替新規件数682件

# 1-2 付帯意見に係る取組状況

## (1) 経営健全化の取組について

### ③ 基本使用料、従量使用料負担区分の検討(本市の状況)



使用戸数	R1	R2	R3	R4	R5
	61,495	62,005	62,142	61,929	62,270

5年間で1%増加

- ・月の有収水量が0から20m<sup>3</sup>/月以下の使用区分が全体の半分以上を占めている
- ・0~20m<sup>3</sup>/月の区分は世帯数の影響で微増傾向。20~50m<sup>3</sup>/月の区分は、やや使用の多い一般家庭の水量減、人口減少や節水の影響も要因と推測
- ・大口利用になるほど使用水量減少も顕著
- ・下水道使用戸数は、核家族化により増加傾向にあるものの、近年は鈍化しており、将来的には減に転じる見込み
- ・単純に基本料金を上げると、使用料収入は増えていくが、最近の物価高騰を踏まえれば、高齢者世帯などへの配慮が必要となる

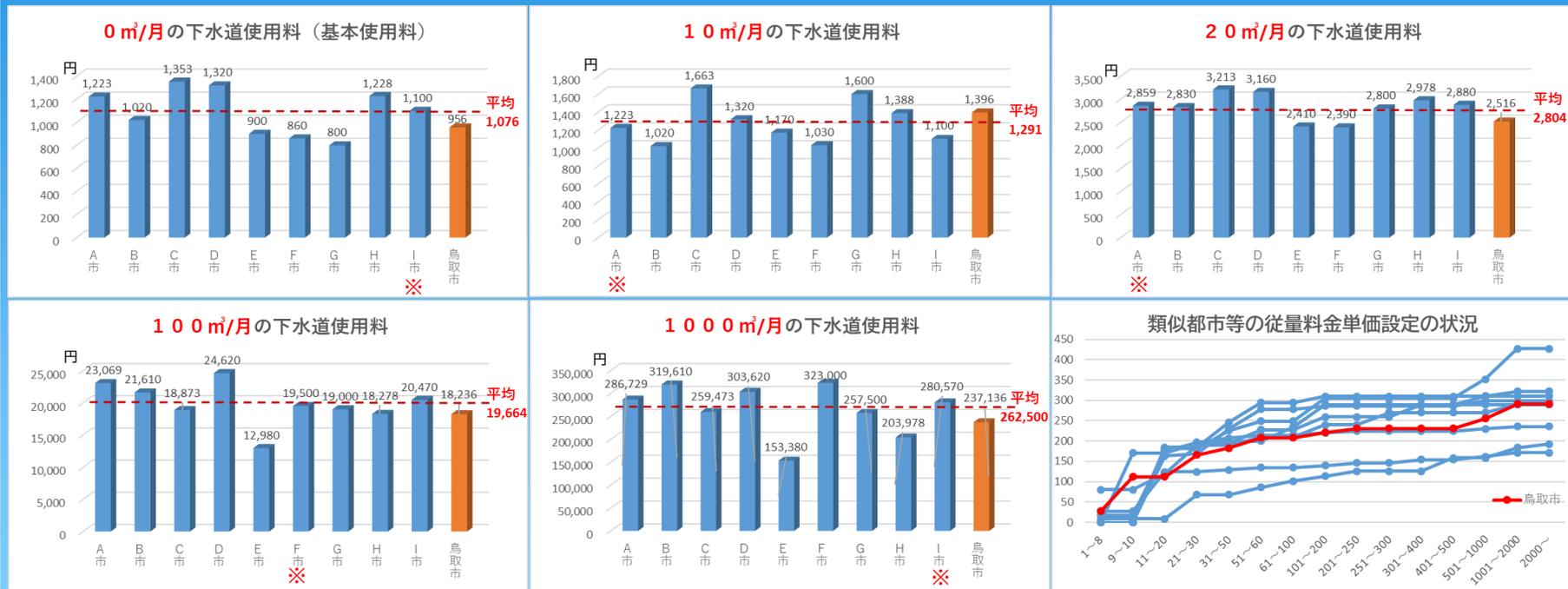
# 1-2 付帯意見に係る取組状況

## (1) 経営健全化の取組について

### ③ 基本使用料、従量使用料負担区分の検討(類似都市との比較)

【類似都市】公共下水道事業の類型区分が本市と同じ(処理区域内人口区分:10万以上)、  
農業集落排水事業等の供用開始後年数別区分が本市と同じ(農集:30年以上) 等

全てR6.4.1現在(税抜き)



※ 使用料の値が類似都市の中間値となる市

- ・中核市を対象とした調査では、「10m³/月までは日常生活で最低限必要な排水と考え低額に設定」としている自治体が多かった
- ・本市の使用料は、10m³/月以外で類似都市の平均値・中間値を下回っており、負担区分見直しの余地はある
- ・従量料金の本市の単価設定状況についても、10m³/月付近以外は他都市に比べて低い設定となっている
- ・どの都市においても従量料金単価は、水量に応じ高くなる設定となっており、水量区分については、6段階で上昇するものが2都市、7段階が4都市、9段階が3都市となっている(本市は9段階)

# 1-2 付帯意見に係る取組状況

## (2) きめ細やかな広報活動

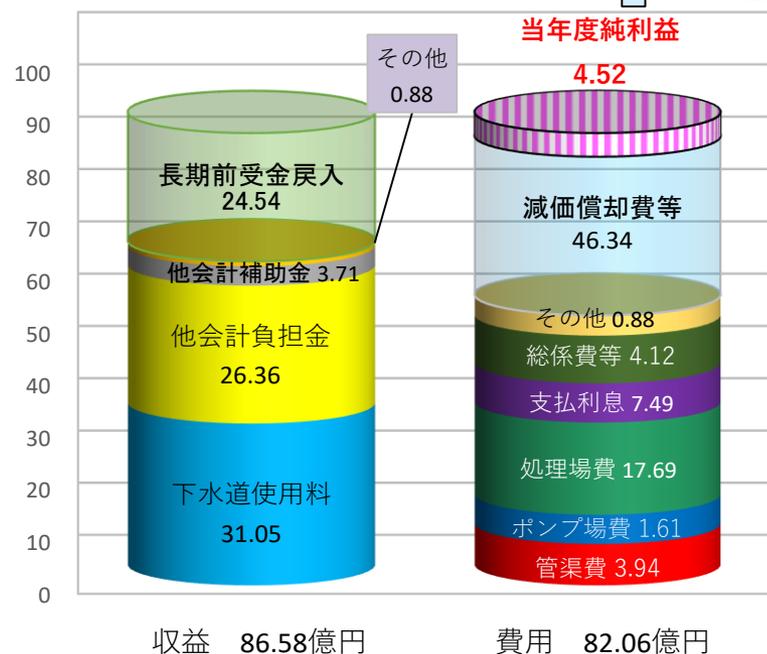
主な広報活動	メディア活用した広報活動
<ul style="list-style-type: none"><li>・下水道だより発行(年1回)</li><li>・下水道ちらし等配布(小学校へ配布)</li><li>・下水処理場見学会の開催 (R4:802人 R5:602人)</li><li>・マンホールカードを作成し、まちパルにおいて配布 (配布枚数R4:1,849枚 R5:2,199枚)</li><li>・ボランティア清掃の実施 (毎月第4金曜)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ホームページを活用した情報発信</li><li>・マンホールデザインの活用(R4.12~) (マンホールデザインTシャツ、切り絵教室、グッズ作成、イベントへの使用等)</li><li>・マンホールを利用したゲームアプリのイベントに参加(R5.9)</li><li>・日本海ケーブルネットワークの番組で処理場の紹介(R6.7)</li></ul>



## 2. 令和5年度の決算の状況

### 収益的収支（税抜き）

汚水・雨水の処理に伴う収入と支出



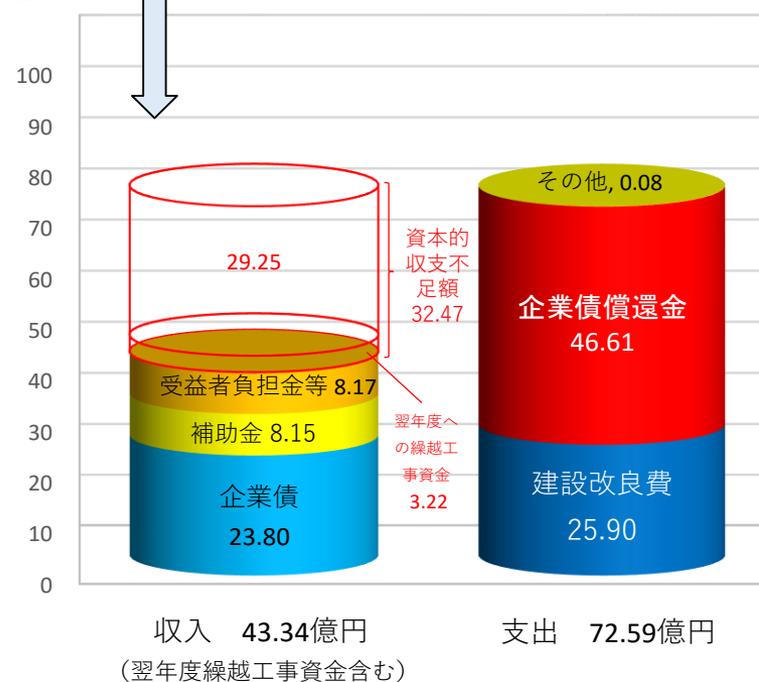
過年度内部留保資金  
23  
(減債積立金15.22含む)

当年度内部留保資金  
7.03

その他2.44

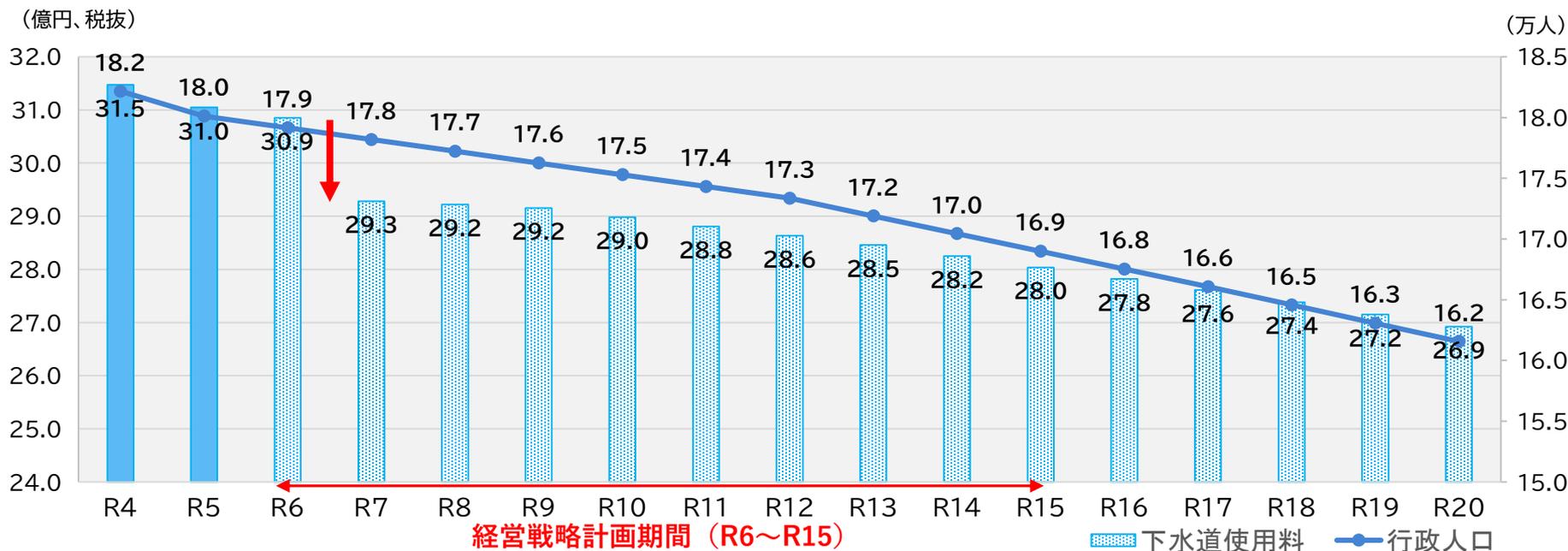
### 資本的収支（税込み）

下水道施設の整備に伴う収入と支出



# 3. 使用料収入と使用料対象経費の見込み

## (1) 下水道等使用料の推移



### 【試算条件：変更点】

前回戦略策定時の試算はそのままに

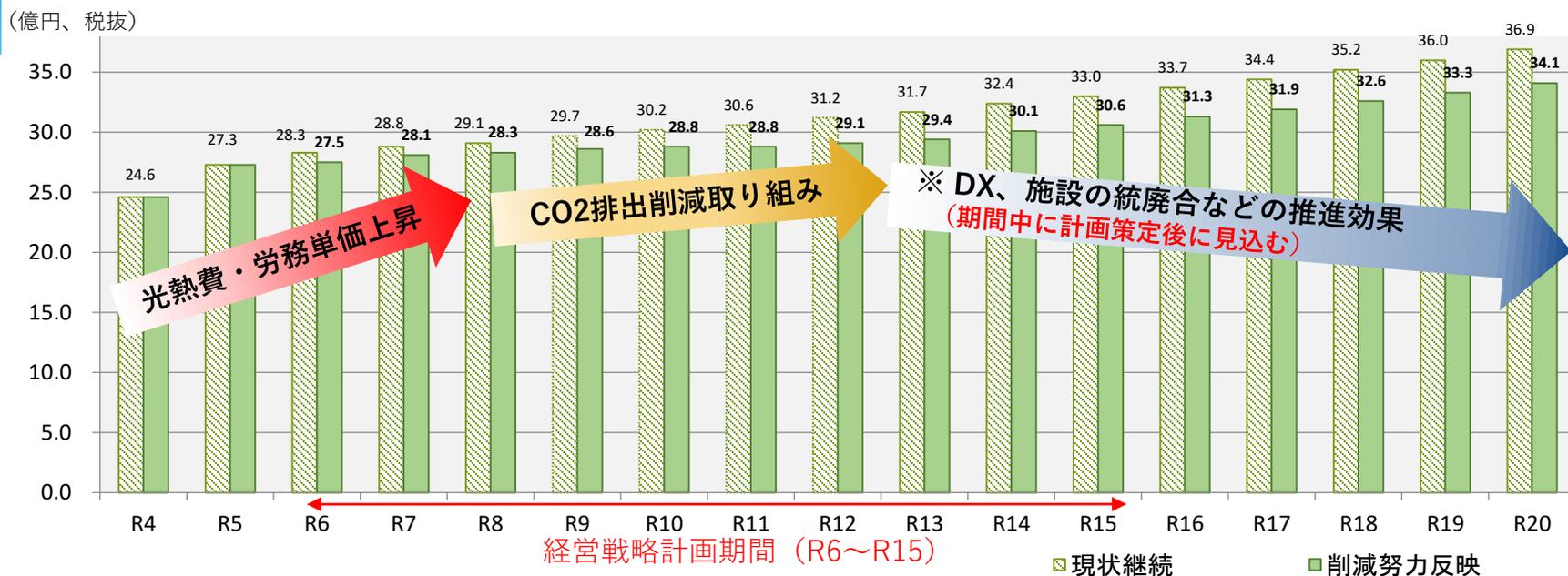
- ・ R5の料金、人口、世帯数を実績とし再計算
- ・ 国立社会保障・人口問題研究所の最新人口推計
- ・ JDI業務縮小に加え、TOSC撤退を反映
- ・ R6,R7それぞれにホテル1件ずつ開業を反映  
(現同ホテルの2倍キャパ)

### 【見込み】

- ・ 人口減少に合わせて収入減少が続くことが予想される。
- ・ 従量逦増制を採用しているため、特にR7年度以降は、大口使用者の事業撤退による収入減が顕著となる。

# 3. 使用料収入と使用料対象経費の見込み

## (2) 維持管理費の推移



### 【試算条件】

- ・近年の労務単価や物価の上昇を見込む。
- ・CO2排出削減の取り組みにより、R9～12年度の4年間で1億2千万円の減少を見込む。
- ・老朽化が進む修繕費については、ストックマネジメント計画に基づく施設整備を適切に行うことにより若干の増加にとどめている。

### 【見込み】

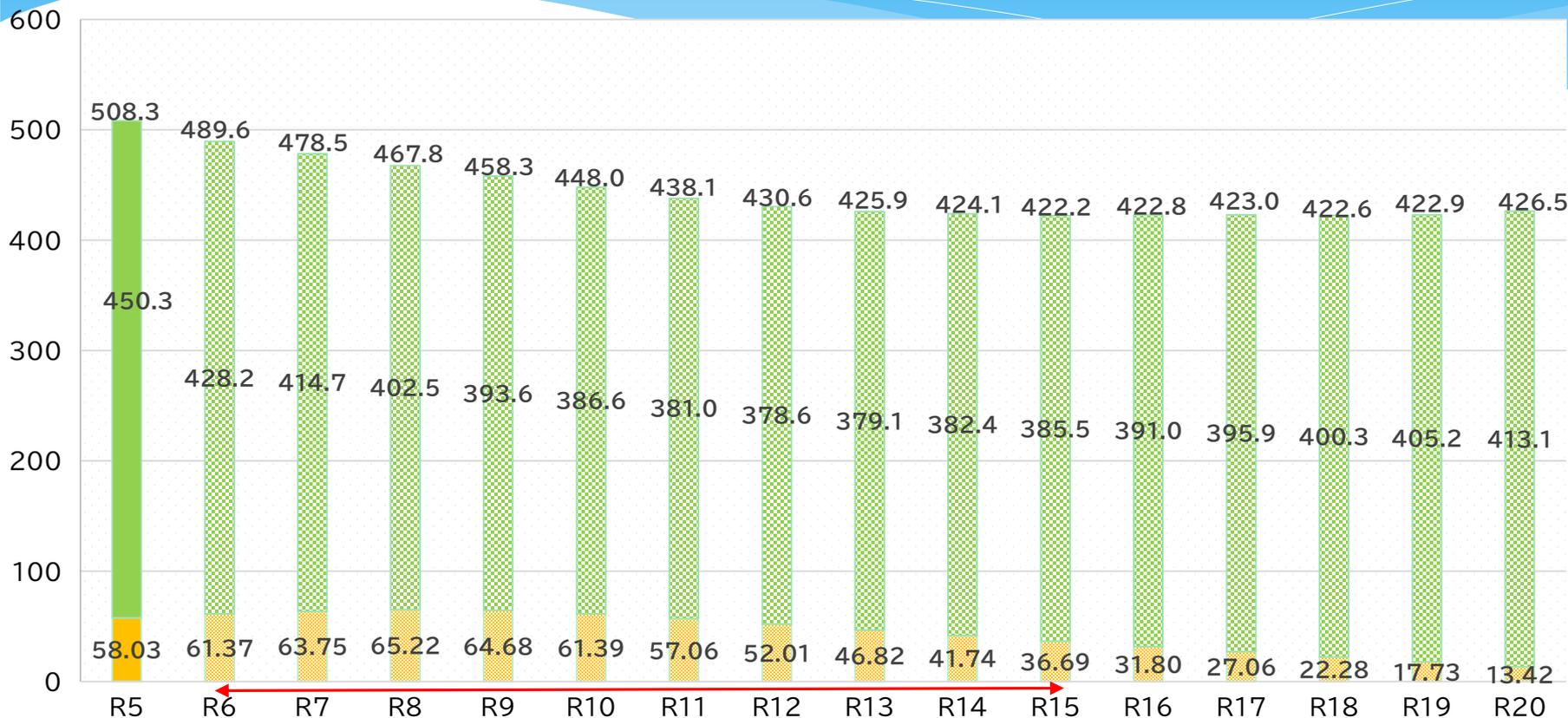
- ・外部要因である原油高、物価高、労務単価の影響を考慮すると、膨大な施設を有する下水道等事業において経費の増加は避けることが困難である。

※令和13年度以降の省エネ、創エネ、施設の統廃合などの推進効果については、期間中に計画できた段階で盛り込む。

# 3. 使用料収入と使用料対象経費の見込み

## (3) 企業債残高の推移

(億円)



経営戦略計画期間(R6~R15)

■ 資本費平準化債 ※ ■ 建設企業債

※資本費平準化債

地方債の元金償還期間と事業用施設の減価償却期間が異なっていることから、当該年度の元金償還額と減価償却費との差額を解消するために発行する企業債。

# 3. 使用料収入と使用料対象経費の見込み

## (4) 経費回収率と内部留保資金

項目	年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R7-9合計	R10年度
		使用料収入 (千円)	3,147,119	3,104,966	3,085,087	2,928,193	2,921,863	2,915,497	8,765,553
使用料対象経費 (千円)		2,683,870	2,894,718	2,870,829	2,897,209	2,915,294	2,950,783	8,763,285	2,984,940
1 資本費 (千円)		804,393	773,081	759,287	733,592	740,397	743,860	2,217,848	759,361
減価償却費 (千円)		558,738	548,663	549,149	536,580	547,445	552,855	1,636,879	567,943
資産減耗費 (千円)		2,175	2,751	5,710	3,561	3,590	3,587	10,738	3,652
支払利息 (千円)		243,480	221,666	204,427	193,451	189,363	187,417	570,231	187,767
2 維持管理費 (千円)		1,879,477	2,121,638	2,111,542	2,163,617	2,174,897	2,206,923	6,545,437	2,225,579
管きよ費 (千円)		247,378	279,833	271,345	282,891	283,690	290,896	857,477	299,605
ポンプ場費 (千円)		77,817	76,402	88,481	83,026	92,656	95,620	271,303	91,952
処理場費 (千円)		1,305,776	1,509,349	1,505,637	1,551,586	1,552,400	1,574,221	4,678,206	1,587,799
水質管理費 (千円)		0	1,976	0	0	0	0	0	0
水洗化普及費 (千円)		9,815	9,030	7,322	7,322	7,322	7,322	21,966	7,322
業務費 (千円)		146,177	148,465	143,665	143,700	143,736	143,772	431,208	143,808
総係費 (千円)		92,513	96,583	95,092	95,093	95,093	95,093	285,278	95,093
3 資産維持費 (千円)									
年間有収水量 (千m <sup>3</sup> )		19,018	18,713	18,497	18,360	18,223	18,087	54,669	17,951
使用料単価 (円/m <sup>3</sup> )		165	166	167	159	160	161	160	161
汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> )		141	155	155	158	160	163	160	166
資本費分 (円/m <sup>3</sup> )		42	41	41	40	41	41	41	42
維持管理費分 (円/m <sup>3</sup> )		99	113	114	118	119	122	120	124
経費回収率 (%)		117.3%	107.3%	107.5%	101.1%	100.2%	98.8%	100.0%	97.1%
内部留保資金 (千円)		3,154,261	2,783,648	2,784,807	2,517,612	2,221,077	1,984,253	-	1,728,568

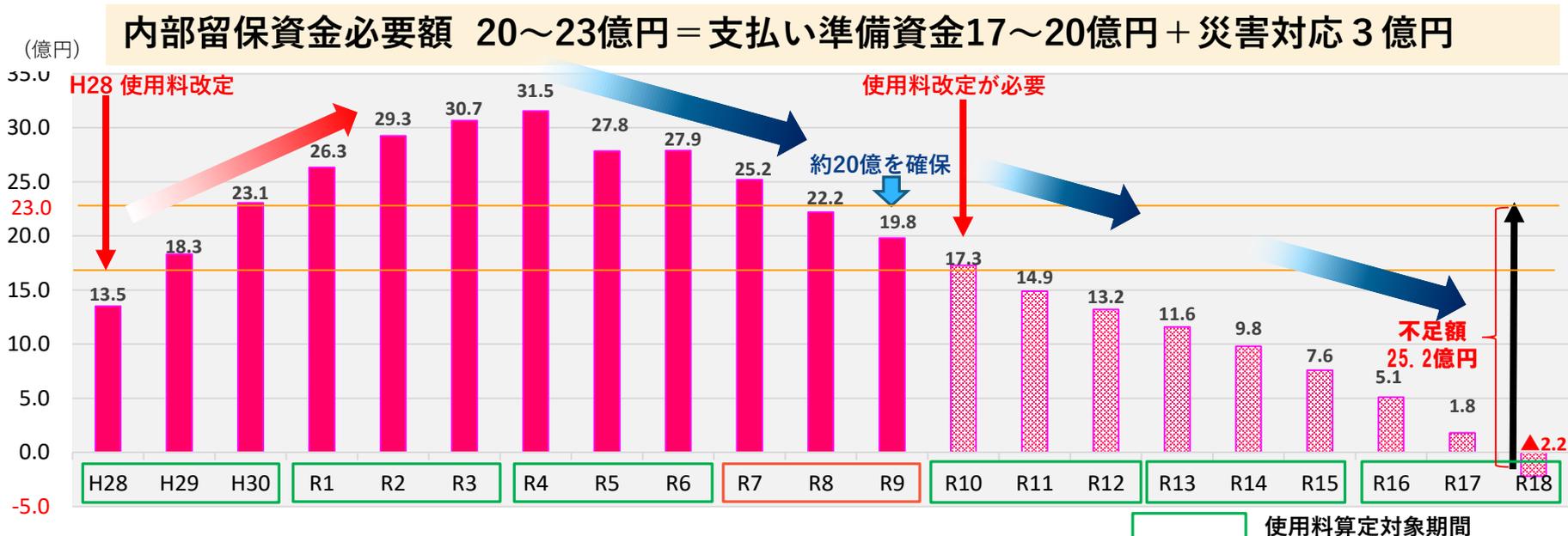
使用料算定期間

※R5以前は決算値、R6以降は見込値。

※赤字は経営戦略より減る見込み、青字は経営戦略より増える見込み。

# 3. 使用料収入と使用料対象経費の見込み

## (4) 経費回収率と内部留保資金（令和5年度決算反映後）



### 【内部留保資金の考え方】

- 過去の支払い実績から17～20億円の資金が必要であること、また、災害時の応急復旧費として3億円程度は確保しておく必要があることから、内部留保資金必要額を20～23億円としており、現経営戦略では最大値の23億円を目標としている。

### 【経営戦略からの時点修正】

- 令和5年度決算値：使用料収入の見込み額からの減、緊急修繕等の実施等による純利益の減少などから、見込みより内部留保資金が1.7億円減少した。
- 令和6年度～令和9年度見込み：使用料収入を現計画値から見直したことにより、内部留保資金も毎年0.1億円から0.2億円減少すると見込んでいる。

### 【その他】

- コスト削減の取り組みは継続して行っていく。
- 省エネ・創エネに係る事業について、前倒しできるよう検討を進めている。

## 4. 今後のスケジュール

**7月25日 第1回審議会(料金改定について)**

**10月 第2回審議会**

※審議の状況等により、開催回数及び日程等を変更する場合がございます。予めご了承ください。